



独立行政法人

大学評価・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and University Evaluation

# 機構ニュース

Vol.149 2015 October

## 今月の記事

### Top News

○ドイツアクレディテーション協議会(GAC)との覚書調印式及びGAC Olaf Bartz博士による講演会の開催 .....1

### 評価事業

**機関別認証評価について**  
申請状況について

○平成28年度認証評価の申請状況について .....2

○平成28年大学機関別選択評価の申請状況について .....2

○平成28年度選択的評価事項(高等専門学校)に係る評価の申請状況について .....2

### 質保証連携

**国内外の質保証機関等との連携**

○「キャンパス・アジア」共同モニタリング実施にかかる日中韓会合の開催 .....3

**諸外国の質保証制度・動向情報の収集・整理・提供**

○新規刊行物のご案内 - 「インフォメーション・パッケージ」収録資料、機構および海外の質保証関係資料 .....4

### 調査研究

○「教育・研究水準の学系別評価基準のあり方にかかる調査研究 報告書 - 学系別の教育・研究水準の評価にかかる参考例」を公表 .....5

### 学位授与事業

**短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係**

認定専攻科に係る教育の実施状況等の審査について  
○平成28年度に実施する教育の実施状況等の審査 .....6

**機構認定の教育施設(各省庁大学校)の課程修了者への学位授与関係**

教育の実施状況等の審査について  
○平成28年度に実施する教育の実施状況等の審査 .....8

### 機構の窓

○会議の開催状況 .....9

### 主要行事日程

○Schedule (10月~12月) .....10

## TOP NEWS

### ○ドイツアクレディテーション協議会(GAC)との覚書調印式及びGAC Olaf Bartz 博士による講演会の開催

平成27年10月7日(水)、当機構とドイツ学修課程アクレディテーション財団(通称:ドイツアクレディテーション協議会/German Accreditation Council: GAC)は、当機構竹橋オフィスにて連携協力に係る覚書を締結しました。当機構とGACは、今回の覚書の締結により、相互の大学評価制度や国際的な共同教育プログラムの質保証にかかる情報や知見の交換を中心に、緊密な連携を図っていくこととしています。

ドイツの高等教育質保証システムの中心を担うアクレディテーションは、ドイツ国内の各州または近隣国に所在する複数の評価機関によって実施されています。GACは、これらの評価機関を定期的に認定するとともに、各評価機関に共通する評価ガイドラインを策定するなど、アクレディテーション制度運用のまとめ役を担っています。

今回、GACからは、Olaf Bartz 博士(Managing Director / Board Member)が来訪し、当機構からは野上機構長、岡本理事をはじめ7名の教職員が調印式に参加しました。当機構及びGACの事業紹介の後、両国におけるジョイント・ディグリーを含む国際共同を伴う教育プログラムの質保証の枠組み等、お互いの関心事項について情報交換・懇談が行われ、最後に、野上機構長・Bartz 博士により、覚書の交換が行われました。

また、同日、Bartz 博士による講演会を同竹橋オフィスで開催しました。まず、冒頭に当機構の吉川主幹よりドイツの高等教育制度について説明がありました。その後Bartz 博士から、ドイツの高等教育における質保証制度に関して、とりわけシステム・アクレディテーションの制度概要や導入の背景、大学からの反応等の紹介があったほか、学生モビリティの現状や今後の質保証における課題等について報告がありました。引き続き、活発な質疑応答が行われるなど盛況のうちに幕を閉じました。



覚書を交換する野上機構長(右)とGAC Bartz 博士(左)



調印式出席者の集合写真

# 評価事業

## 機関別認証評価について

### ■申請状況について

#### ○平成28年度認証評価の申請状況について

平成28年度に実施する大学及び高等専門学校機関別認証評価について、下記のとおり申請を受け付けました。

なお、法科大学院認証評価については、申請がありませんでした。

	認証評価
大学機関別認証評価	18校
高等専門学校機関別認証評価	4校

#### ○平成28年度大学機関別選択評価の申請状況について

平成28年度に実施する大学機関別選択評価について、下記のとおり申請を受け付けました。

大学機関別選択評価は、当機構が独自に行う第三者評価として、大学の希望に応じて大学機関別認証評価とは異なる側面から大学の諸活動等を評価します。

選択評価事項には、A「研究活動の状況」、B「地域貢献活動の状況」及びC「教育の国際化の状況」を設けています。A及びBでは、水準判定を加味しつつ、各大学が有する目的の達成状況を中心に評価を実施します。Cでは、目的の達成状況の評価に加え、各評価項目に係る水準について一般的な水準と比較した評価を実施します。

	A「研究活動の状況」	B「地域貢献活動の状況」	C「教育の国際化の状況」
大学	3校	7校	1校

#### ○平成28年度選択的評価事項（高等専門学校）に係る評価の申請状況について

平成28年度に実施する選択的評価事項に係る評価について、下記のとおり申請を受け付けました。

選択的評価事項に係る評価は、高等専門学校評価基準とは別に、当機構独自の第三者評価として実施するものであり、高等専門学校の希望に応じて高等専門学校評価基準とは異なる側面から高等専門学校の活動等を評価します。

選択的評価事項には、教育活動と関連する側面のみからでは十分に把握することが難しいA「研究活動の状況」及びB「正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」を設けており、その事項に関わる各高等専門学校が有する目的の達成状況等について評価を行います。

	A「研究活動の状況」	B「正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」
高等専門学校	4校	4校

## 質保証連携

### 国内外の質保証機関等との連携

#### ○「キャンパス・アジア」共同モニタリング実施にかかる日中韓会合の開催

平成 27 年 9 月 17 日（木）、当機構小平本部において、「キャンパス・アジア」の日中韓共同モニタリング（2次モニタリング）の訪問調査等の実施に向けた会合を開催しました。機構より、岡本理事をはじめ5名、韓国大学教育協議会（KCUE）より2名、中国教育部高等教育教学評価センター（HEEC）より、テレビ会議システムを利用して4名が参加しました。

2次モニタリングの実施にかかる三国会合は今年6月にも行っており、今回は今年度三国が共同で行う訪問調査やその方法、報告書の作成方法等について協議を行いました。その結果、採択された10件のプログラムに対し11月から共同訪問調査やヒアリングを実施していくこと、ならびにこれらの調査等を踏まえた報告書の構成等について合意がなされました。

同モニタリングの成果については、共同報告書としてとりまとめ、国内外に発信していく予定です。

なお、6月の会合については[こちら](#)をご覧ください。



議論の様子（9月17日）

## 諸外国の質保証制度・動向情報の収集・整理・提供

### ○新規刊行物のご案内 — 「インフォメーション・パッケージ」収録資料、機構および海外の質保証関係資料

当機構では、国内外の高等教育質保証の基礎情報や動向をはじめ、国際的な共同教育プログラムの質保証を図るうえで有益な海外の情報や事例を収集し、刊行物や概要資料にまとめて関係者に広く発信しています。

今回は、高等教育質保証の基礎情報をまとめた「インフォメーション・パッケージ」の新たな収録資料として、「香港 高等教育の質保証 ブリーフィング資料」をご案内します。

ここで紹介しました資料の電子版は、当機構「[国際連携ウェブサイト](http://www.niad.ac.jp/n_kokusai/)」の「刊行物ページ」に掲載していますので、ご覧ください。

国際連携ウェブサイト：[http://www.niad.ac.jp/n\\_kokusai/](http://www.niad.ac.jp/n_kokusai/)

### 「インフォメーション・パッケージ」新規収録資料



#### 香港 高等教育の質保証 ブリーフィング資料

香港の中等後教育や質保証制度の概況、各評価機関が行う第三者評価についてまとめた資料。HKCAAVQ の協力・助言を得つつ、最近のデータや動向を踏まえて、当機構の評価事業部国際課が作成。（平成 27 年 9 月作成／18 ページ）

## 調査研究

### ○「教育・研究水準の学系別評価基準のあり方にかかる調査研究 報告書 — 学系別の教育・研究水準の評価にかかる参考例」を公表

研究開発部では、平成28年度に機構が実施する「国立大学法人および大学共同利用機関法人における教育研究の状況についての評価」における学部・研究科等ごとの教育・研究水準の評価（「現況分析」）に用いる参考資料として、上記の報告書を公表いたしました。（公表ページは[こちら](#)から。）

現況分析は、10の学系ごとに学部・研究科の教育・研究の状況を分析し、「関係者の期待に込んでいるか」という視点から評価を行います。その評価項目や観点は、学系（分野）に共通したものが定められています。しかし実際には、分野ごとに教育・研究活動の実施方法や成果は多様であり、それらを経験する視点や必要な根拠資料・データも異なります。

そのため、本調査研究では、学系ごとの教育・研究に関する固有の視点を踏まえた、より具体的な「参考例」を策定いたしました。策定にあたっては、前回の評価結果の分析や近年の政府や学界などの提言等の分析から素案を作成し、大学教員などから構成される学系ごとの検討会で議論をしていただきました。策定した「参考例」は、現況調査の評価者の研修の際に参考情報として提示する予定です。また、公表することにより大学が自己評価の参考にすることもあり得ると考えています。

このような例示を作成して公表することの是非については、各学系の検討会においても多くの議論がなされました。例示を作成することにより大学を画一的な方向に誘導するのではないかという懸念が示される一方で、何らかの例示がなければ評価者は共通見解をもって評価がしづらいうし、大学側も現況調査表に何を書いてよいかのかわかりにくいという意見が出ました。そのため、本「参考例」は各学系の評価者が任意に参照できる参考情報として研修会で提供するものとし、大学側でもこの「参考例」には示されていない特徴的な取組も積極的に記載することを奨励することを本文にて説明しています。

このような「参考例」により、評価をより客観的で公平なものとするとともに、社会からも評価結果がより分かりやすいものになることを期待しています。今後、このような学系別評価基準の考え方や手法の有効性を確認したいと考えています。



学系ごとの検討会の様子

## 学位授与事業

### 短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

#### ■認定専攻科に係る教育の実施状況等の審査について

機構が認定した短期大学・高等専門学校の専攻科については、認定又は再審査の結果の通知日の属する年度の次年度の4月1日から、原則として5年後に教育の実施状況等の審査を行い、その後は、原則として7年ごとに審査を行っています。

#### ○平成28年度に実施する教育の実施状況等の審査

平成28年度は、短期大学の認定専攻科のうち8校9専攻及び高等専門学校の認定専攻科のうち11校19専攻が審査対象となっており、該当する認定専攻科を置く短期大学又は高等専門学校の設置者に、平成28年度に審査を行うことを通知しました。

##### 1 短期大学専攻科【8校9専攻】

	名 称	専 攻	修業 年限	設 置 者
1	日本歯科大学新潟短期大学	歯科衛生学専攻	1年	学校法人日本歯科大学
2	飯田女子短期大学	地域看護学専攻	1年	学校法人高松学園
		助産学専攻	1年	
3	鈴鹿大学短期大学部	健康生活学専攻	2年	学校法人享栄学園
4	大阪音楽大学短期大学部	音楽専攻	1年	学校法人大阪音楽大学
5	湊川短期大学	幼児教育専攻	2年	学校法人湊川相野学園
6	白鳳短期大学	リハビリテーション学専攻	1年	学校法人西大和学園
7	高知学園短期大学	地域看護学専攻	1年	学校法人高知学園
8	別府大学短期大学部	初等教育専攻	2年	学校法人別府大学

2 高等専門学校専攻科 【11校 19専攻】

	名 称	専 攻	修業 年限	設 置 者
1	函館工業高等専門学校	生産システム工学専攻	2年	独立行政法人国立高等専門学校機構
		環境システム工学専攻	2年	
2	釧路工業高等専門学校	建設・生産システム工学専攻	2年	独立行政法人国立高等専門学校機構
		電子情報システム工学専攻	2年	
3	福井工業高等専門学校	生産システム工学専攻	2年	独立行政法人国立高等専門学校機構
		環境システム工学専攻	2年	
4	鈴鹿工業高等専門学校	電子機械工学専攻	2年	独立行政法人国立高等専門学校機構
5	米子工業高等専門学校	生産システム工学専攻	2年	独立行政法人国立高等専門学校機構
		物質工学専攻	2年	
		建築学専攻	2年	
6	呉工業高等専門学校	機械電気工学専攻	2年	独立行政法人国立高等専門学校機構
		建設工学専攻	2年	
7	香川高等専門学校	創造工学専攻	2年	独立行政法人国立高等専門学校機構
		電子情報通信工学専攻	2年	
8	新居浜工業高等専門学校	生物応用化学専攻	2年	独立行政法人国立高等専門学校機構
9	熊本高等専門学校	電子情報システム工学専攻	2年	独立行政法人国立高等専門学校機構
10	大分工業高等専門学校	機械・環境システム工学専攻	2年	独立行政法人国立高等専門学校機構
		電気電子情報工学専攻	2年	
11	神戸市立工業高等専門学校	応用化学専攻	2年	神戸市

教育の実施状況等の審査	短期大学専攻科	8校 9専攻
	高等専門学校専攻科	11校 19専攻
	合計	19校 28専攻

## 機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

### ■教育の実施状況等の審査について

機構が認定した教育施設（各省庁大学校）の課程については、原則として5年ごとに教育の実施状況等の審査を行っています。

### ○平成28年度に実施する教育の実施状況等の審査

平成 28 年度は、機構が認定した教育施設（各省庁大学校）の課程のうち、次の1校3課程が審査対象となっています。

（大学の学部に対応する教育を行う課程）

認定課程名	入学定員	修業年限	認定年月日
防衛大学校 本科	530人	4年	平成3年12月18日

（大学院の修士課程に対応する教育を行う課程）

認定課程名	入学定員	修業年限	認定年月日
防衛大学校理工学研究科前期課程	90人	2年	平成3年12月18日

（大学院の博士課程に対応する教育を行う課程）

認定課程名	入学定員	修業年限	認定年月日
防衛大学校理工学研究科後期課程	20人	3年	平成13年3月12日

## 機構の窓

### ○会議の開催状況

- 高等専門学校機関別認証評価委員会

第2回 平成27年9月15日（火） 14：00～16：00

- 議事

- （1） 認証評価検討ワーキンググループでの検討内容結果について
- （2） その他

## 主要行事日程

### ○ Schedule

10月

日	行事名	担当課
1日～7日	<a href="#">平成27年度10月期学位授与郵送申請受付期間</a>	学位審査課
7日	<a href="#">ドイツアクレディテーション協議会による講演会</a>	国際課
26日	<a href="#">大学ポートレート運営会議（第3回）</a>	大学ポートレート センター事務室

11月

日	行事名	担当課
6日	<a href="#">学位審査会（平成27年度第3回）</a>	学位審査課

12月

日	行事名	担当課
1日	<a href="#">国立大学教育研究評価委員会（第42回）</a>	評価企画課
6日	大学評価・学位授与機構試験（面接） （東京地区）	学位審査課
13日	大学評価・学位授与機構試験（小論文） （東京地区，大阪地区，福岡地区）	学位審査課



独立行政法人

大学評価・学位授与機構